

朝鮮成南道奧南邑湖南里朝鮮窒素肥料會社	會社製鐵部	准	吉田作次君	土田庸治郎
瀧野川區上中里町二〇 (駒込一〇八〇)	早大, 理工, 在學	"	不破整君	鹽澤正一
目黒區平町九六	東大工, 冶在學	"	橋口隆吉君	三島徳七
八幡市門田合宿所	工學士 日鐵八幡製鐵所製鋼部	"	久枝惣二郎君	谷 閑 衛
八幡市門田職員合宿所	日鐵八幡製鐵所製鋼部配給課	"	平倉園衛君	"
鞍山市北三條町 青葉寮内	昭和製鋼所製鋼部鋼片課	"	家木時生君	數納勳郎
横濱市鶴見區末廣町二ノ四 芝浦製作所鑄物工場		"	芳村清三郎君	河合成治
横濱市鶴見區末廣町二ノ四 構内	工學士 石川島造船所鶴見鑄物工場	"	河崎一雄君	村松橋太郎
"	石川島造船所鶴見鑄物工場	"	前 畑 一君	志村清次郎

死 亡 者

本會正會員 (維持會員代表者) 清岡榮之助君 (六月十四日午前八時)
 准 會 員 山地俊勝君 (四月一日上海にて戦死)
 平野英雄君 (昭和十一年八月死亡の通知受付)
 以上三氏の訃に接したるは痛惜に不堪茲に謹んで弔意を表す

「鐵と鋼」誌へ寄稿に関する注意事項

1. 原稿用紙は本會所定のものを使用する事。(用紙は御請求次第差上ます)
2. 論文及び報文は凡て簡單明瞭を旨とし本文に重要なる關係なき前置及び摺換の如きは成るべく省略する事。
3. 文體は文章的口語體とし假名は平假名を用ひ數字は算用數字を用ひる事。外國語は片假名にて記す事。外國固有名詞は原語字綴の儘にても差支へない。
4. 論文の冒頭には歐文又は邦文にてその摘要を記載する事。
5. 論文報文は圖、表、寫眞ともに會誌 20 頁を超過せざる事。
6. 數表、線圖は成る可く少くする事。同一事項を數表、線圖兩方にて表すが如きは成る可く避け 何れか一方にする事。
7. 線圖、圖面は成る可く會誌一欄 (幅 70 mm) 内に縮寫し得る様、線の太さに注意し白地に黒線にて明瞭に書く事。但し方眼紙を用ふる時は必ず淡青色のものに限る。(赤、黄、代緒等のものは不可)
 圖面、線圖、寫眞等の挿入場所は豫め原稿中に指定の事、但し誌上掲載方に就ては印刷の都合上當方に一任されたし。
8. 線圖、圖面の文字は本會に於て活字にて記入するに付原圖には鉛筆にて明瞭に記入の事。
9. 寫眞及び顯微鏡寫眞は成る可く少くする事。
10. 數學式は、 $\frac{x}{2}$, $\frac{x}{a+b}$ | n, は $1/2x$, $x/(a+b)$, $n!$ の如くし、又 \sqrt{a} , $\sqrt{a+b}$ の如きは、 \sqrt{a} 又は $\sqrt{a+b}$ 又は $(a+b)^{1/2}$ の如くする事。
11. 小數點は數字の中央より上部に置き、1,000 以上の數字には 3 桁毎にコンマ (,) にて切る事。例へば 1,367,893.54。
12. 名數は次の如く記し括弧内の様を書くを避ける事。13.55 圓 (十三圓五十五錢) 1934 年 5 月 20 日 (千九百三十四年五月二十日) 1~4 時間 (一乃至四時間)
13. 單位は特別の場合の外は成る可くメートル系單位を用ひ又其の表はし方は次の如くする事。

キロメートル km	立方メートル m ³
メートル m	トン (1,000 kg) t
センチメートル cm	キログラム kg
ミリメートル mm	グラム g
平方キロメートル km ²	毎平方センチメートル・キログラム kg/cm ²
リットル l	毎平方ミリメートル・キログラム kg/mm ²
溫度 (攝氏) °C	
14. 以上各項により編輯委員は辭句の修整、短縮及び表、圖、寫眞等の取捨をなす事あるにつき豫め御了承を乞ふ。